

自然観察サークル 1 月定例会ブログ



自然観察サークル1月定例会は例年は新年会をしながら今年度を振り返りながら来年度の予定を立てるのですが、コロナ禍で楽しみにしていた新年会は見合わせて、代わりに高松塚地区の公園館で来年度の予定を立てました。

午前中は高松塚周辺を散策して、明日香の冬を観察しました。

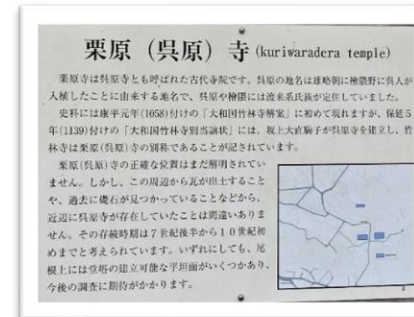
準備運動をして高松塚地区の芝生広場を抜け高松塚を通って栗原寺方面へ向かいました。



風が強く寒い日でしたが、いつものように立ち止まっては観察しながら進んで行きました。



栗原寺跡の礎石の周りに立って、栗原寺の説明を読んだり聞いたりして昔に思いを馳せました。



遺跡を見たり野道のあちこちにある野仏を拝んだりしながら、植物観察を楽しみました。



マンサクの木を見つけて観察しました。寒い冬の真最中ですがマンサクはもうほころびかかっていました。“冬来たりなば春遠からじ”です。



高松塚周辺で観察できた植物の一部。

ナズナ(花が咲いていた)



オヘビイチゴ



キツネアザミ(ロゼット状)



ホトケノザ



クレソン(おいしそうです)



スイバ(寒さから身を守るため葉が赤変)



午後は来年度の予定などいろいろ話し合いました。

来年度のサークル長や副サークル長も決まり、定例会などの日程や担当者もスムーズに決まりました。来年度も順調に活動できそうです。

それから2021年度の活動記念にツユクサ(今年の定例会でよく活躍した花)の缶バッジを作りました。

